

平成28年度宮城県学力・学習状況調査結果（速報）について

宮城県教育委員会

1 実施状況

（1）調査の目的

宮城県の児童生徒の学力や学習状況及び学校の学習に係る取組，意識等を調査することにより，児童生徒の一層の学力向上に向け，学習指導の改善と家庭学習の充実を図るとともに，今後の教育施策の企画・立案に活用する。

本調査の結果と全国学力・学習状況調査の結果を関連付けて分析することにより，学校における教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立を図る。

（2）調査実施期日

平成28年4月26日（火）

（3）調査対象（仙台市を除く）

小学校5年生及び特別支援学校小学部5年生の全児童
中学校2年生及び特別支援学校中学部2年生の全生徒

（4）調査事項及び内容

教科に関する調査

- ・小学校5年生：国語，算数
- ・中学校2年生：国語，数学，英語

基礎・基本に関する問題が全体の約8割

思考力・判断力・表現力に関する問題が全体の約2割

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

（5）実施校（仙台市を除く）

小学校調査 262校

中学校調査 142校

（6）実施児童生徒数（仙台市を除く）

小学校調査 10,298人

中学校調査 11,097人

2 調査結果

(1) 教科に関する調査結果

「全体」、「基礎・基本」及び「思考力・判断力・表現力」の平均正答率は、小5の国語を除いた教科で「期待値」¹とのかい離が5ポイントの範囲内であり有意差は見られなかった²ものの、多くの項目で期待値を下回っている。

中2の国語の「思考力・判断力・表現力」の平均正答率は、期待値を上回り、経年比較もプラスとなっている。

中2の英語については、「全体」、「基礎・基本」及び「思考力・判断力・表現力」の経年比較がともにプラスとなっている。

<表1> 学年・教科ごとの宮城県平均正答率（全体，基礎・基本，思考力・判断力・表現力）

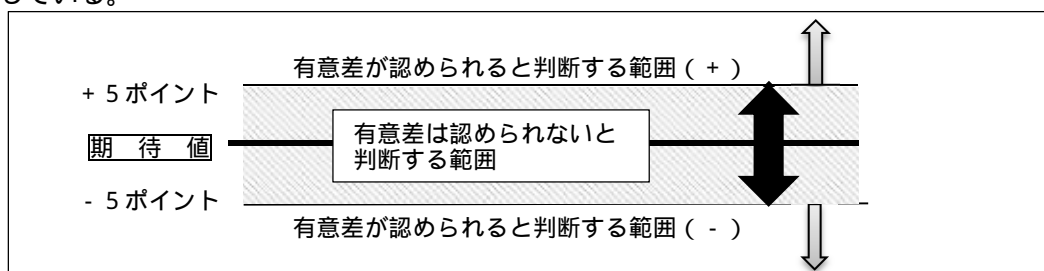
校種	教科	年度	全体				基礎・基本				思考力・判断力・表現力			
			県平均正答率	期待値	期待値との比較 ³	経年比較 ⁴	県平均正答率	期待値	期待値との比較	経年比較	県平均正答率	期待値	期待値との比較	経年比較
小学校	国語	H28	62.6	69.6	-7.0	-2.3	64.5	71.3	-6.8	-2.1	51.1	59.0	-7.9	-3.7
		H27	62.0	66.7	-4.7		64.8	69.5	-4.7		46.0	50.2	-4.2	
	算数	H28	64.7	65.8	-1.1	-1.9	67.3	68.4	-1.1	-1.4	57.4	58.6	-1.2	-4.0
		H27	71.3	70.5	0.8		73.3	73.0	0.3		61.8	59.0	2.8	
中学校	国語	H28	67.7	69.6	-1.9	0.1	69.3	71.7	-2.4	-0.9	60.1	60.0	0.1	4.2
		H27	62.9	64.9	-2.0		66.8	68.3	-1.5		45.6	49.7	-4.1	
	数学	H28	58.4	61.2	-2.8	-1.6	62.0	65.2	-3.2	-1.6	42.6	44.0	-1.4	-1.6
		H27	61.8	63.0	-1.2		63.3	64.9	-1.6		56.2	56.0	0.2	
	英語	H28	67.3	68.1	-0.8	1.9	72.2	72.5	-0.3	2.0	52.2	54.1	-1.9	1.7
		H27	65.6	68.3	-2.7		71.2	73.5	-2.3		47.5	51.1	-3.6	

1 「期待値」について

全国的な水準で期待すべき想定平均正答率を県が設定した参考値である。

2 「有意差は見られなかった」について

期待値は想定した平均正答率であり、±5ポイントを誤差と捉え、下図のような考え方を設定している。



3 「期待値との比較」について

県平均正答率と期待値とのかい離を表した値である。

4 「経年比較」について

H28の「期待値との比較」の値をH27の値と比較したものである。調査年度により、期待値が異なるため、県平均正答率ではなく「期待値との比較」の値の差によって比較した。

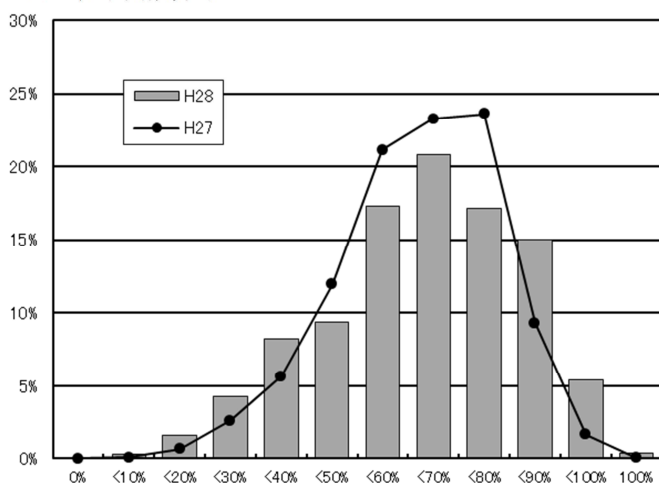
(2) 小学校第5学年国語の調査結果

- ・「教科全体」，「基礎・基本」及び「思考力・判断力・表現力」ともに，期待値を5ポイント以上下回るとともに，経年比較もマイナスとなっている。
- ・「話すこと・聞くこと」については，期待値を下回ったもののかい離は5ポイントの範囲内であり，有意差は見られない。経年比較はプラスになっている。
- ・「書くこと」については，期待値を5ポイント以上下回り，4領域の中で期待値とのかい離が最も大きくなっている。
- ・「読むこと」については，期待値を5ポイント以上下回り，経年比較はマイナスとなっている。

<表2> 領域別平均正答率

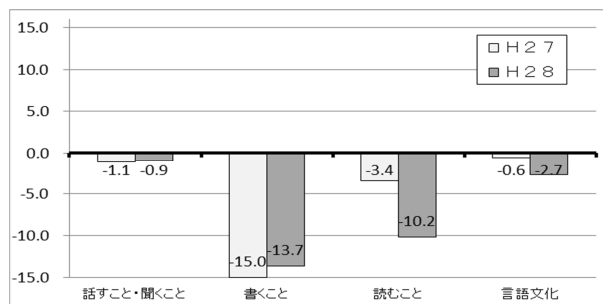
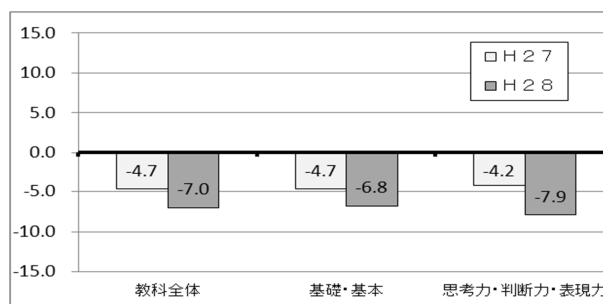
分類	区分	年度	県平均正答率	期待値	期待値との比較	経年比較
全体・基礎・活用	教科全体	H28	62.6	69.6	-7.0	-2.3
		H27	62.0	66.7	-4.7	
	基礎・基本	H28	64.5	71.3	-6.8	-2.1
		H27	64.8	69.5	-4.7	
	思考力・判断力・表現力	H28	51.1	59.0	-7.9	-3.7
		H27	46.0	50.2	-4.2	
領域	話すこと・聞くこと	H28	64.7	65.6	-0.9	0.2
		H27	70.5	71.6	-1.1	
	書くこと	H28	56.7	70.4	-13.7	1.3
		H27	54.8	69.8	-15.0	
	読むこと	H28	58.5	68.7	-10.2	-6.8
		H27	55.9	59.3	-3.4	
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	H28	68.1	70.8	-2.7	-2.1
		H27	68.6	69.2	-0.6	

正答率度数分布



5 「経年比較」は，「期待値との比較」の値をグラフ化し，経年比較を表したものである。以降のグラフにおいて同じ。

経年比較 ⁵



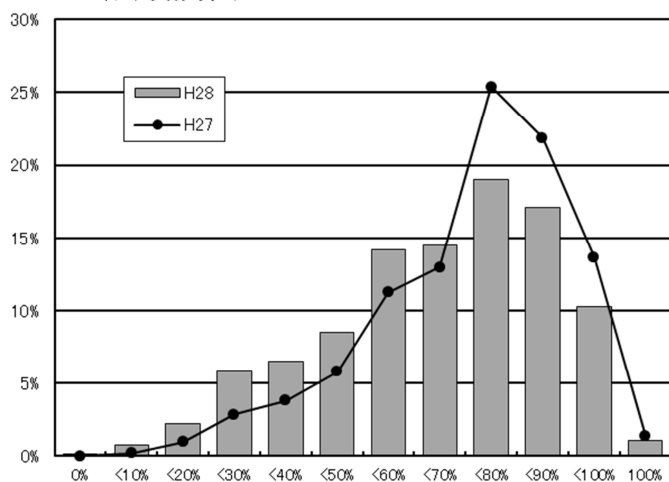
(3) 小学校第5学年算数の調査結果

- ・「教科全体」,「基礎・基本」及び「思考力・判断力・表現力」については,期待値を下回ったもののかい離は5ポイントの範囲内であり,有意差は見られないが,経年比較はマイナスとなっている。
- ・「量と測定」は,昨年度に引き続き期待値を上回るとともに,経年比較もプラスとなっている。
- ・「数と計算」,「図形」及び「数量関係」については,期待値を下回ったもののかい離は5ポイントの範囲内であり,有意差は見られないが,経年比較はマイナスとなっている。

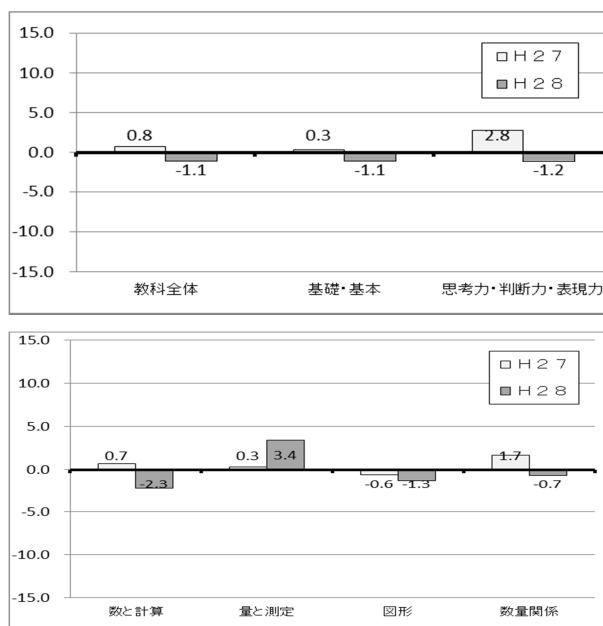
<表3> 領域別平均正答率

分類	区分	年度	県平均正答率	期待値	期待値との比較	経年比較
全体・基礎・活用	教科全体	H28	64.7	65.8	-1.1	-1.9
		H27	71.3	70.5	0.8	
	基礎・基本	H28	67.3	68.4	-1.1	-1.4
		H27	73.3	73.0	0.3	
	思考力・判断力・表現力	H28	57.4	58.6	-1.2	-4.0
		H27	61.8	59.0	2.8	
領域	数と計算	H28	70.0	72.3	-2.3	-3.0
		H27	78.9	78.2	0.7	
	量と測定	H28	73.7	70.3	3.4	3.1
		H27	77.1	76.8	0.3	
	図形	H28	50.5	51.8	-1.3	-0.7
		H27	65.1	65.7	-0.6	
	数量関係	H28	55.2	55.9	-0.7	-2.4
		H27	59.2	57.5	1.7	

▲ 正答率度数分布



経年比較



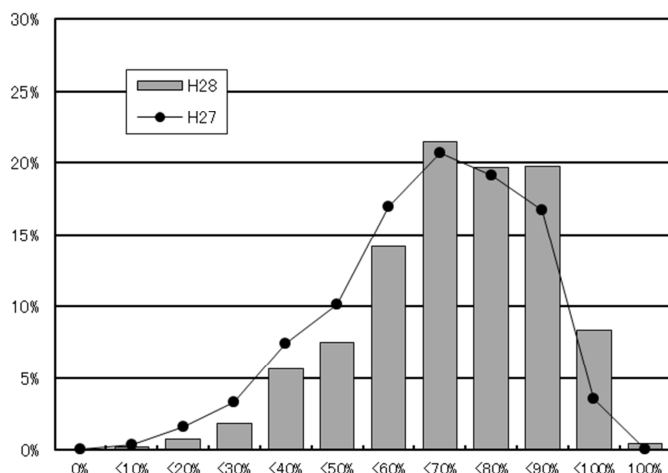
(4) 中学校第2学年国語の調査結果

- ・「教科全体」，「基礎・基本」は，期待値を下回ったものの，かい離は5ポイントの範囲内であり，有意差は見られない。また，「教科全体」と「思考力・判断力・表現力」は経年比較でプラスとなっている。
- ・「話すこと・聞くこと」は，期待値を上回るとともに経年比較もプラスとなっている。
- ・「書くこと」は，期待値を5ポイント以上下回り，経年比較もマイナスとなっている。
- ・「読むこと」は，期待値をわずかに下回ったものの，経年比較はプラスとなっている。
- ・「言語文化等に関する事項」は，期待値を下回ったものの有意差はなく，経年比較はプラスとなっている。

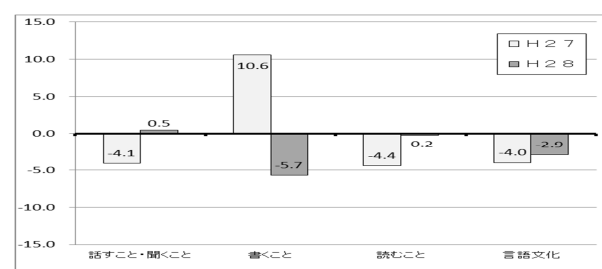
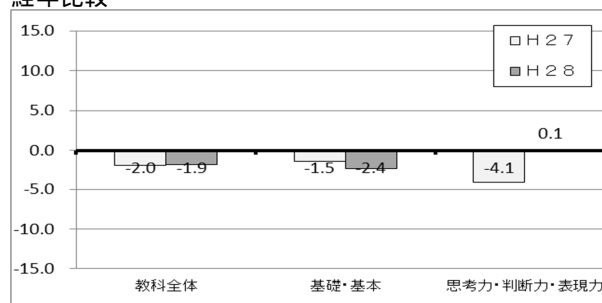
<表4> 領域別平均正答率

分類	区分	年度	県平均正答率	期待値	期待値との比較	経年比較
全体 ・ 基礎 ・ 活用	教科全体	H28	67.7	69.6	-1.9	0.1
		H27	62.9	64.9	-2.0	
	基礎・基本	H28	69.3	71.7	-2.4	-0.9
		H27	66.8	68.3	-1.5	
	思考力・判断力・表現力	H28	60.1	60.0	0.1	4.2
		H27	45.6	49.7	-4.1	
領域	話すこと・聞くこと	H28	74.0	73.5	0.5	4.6
		H27	76.0	80.1	-4.1	
	書くこと	H28	77.1	82.8	-5.7	-16.3
		H27	73.2	62.6	10.6	
	読むこと	H28	59.8	60.0	-0.2	4.2
		H27	55.1	59.5	-4.4	
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	H28	68.3	71.2	-2.9	1.1
		H27	60.4	64.4	-4.0	

▲ 正答率度数分布



経年比較



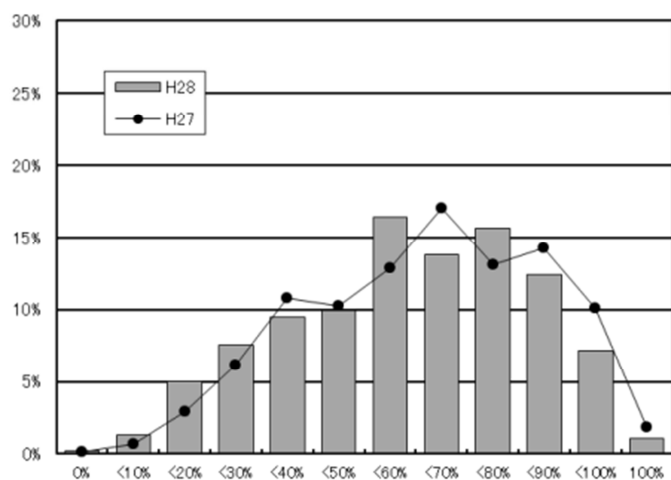
(5) 中学校第2学年数学の調査結果

- ・「教科全体」,「基礎・基本」及び「思考力・判断力・表現力」は,期待値を下回ったものの,かい離は5ポイントの範囲内であり,有意差は見られないが,経年比較はマイナスとなっている。
- ・「数と式」,「図形」は期待値をわずかに下回っているものの,経年比較はプラスとなっている。
- ・「関数」は,期待値を大きく下回り,経年比較もマイナスとなっている。
- ・「資料の活用」は,期待値をわずかに下回り,経年比較はマイナスとなっている。

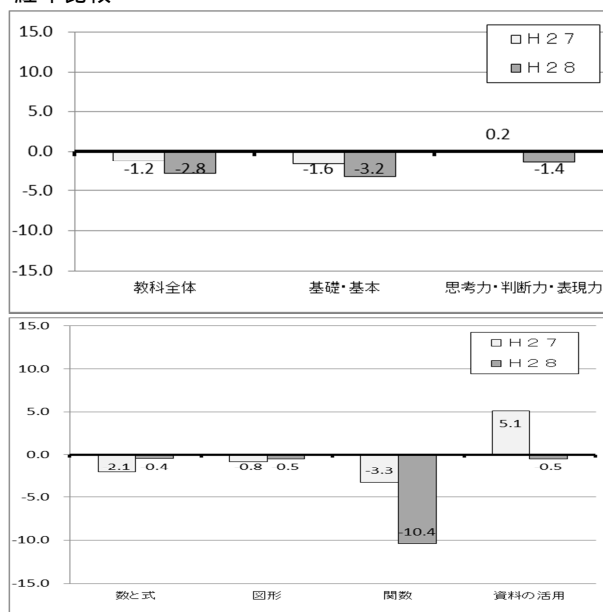
<表5> 領域別平均正答率

分類	区分	年度	県平均正答率	期待値	期待値との比較	経年比較
全体・基礎・活用	教科全体	H28	58.4	61.2	-2.8	-1.6
		H27	61.8	63.0	-1.2	
	基礎・基本	H28	62.0	65.2	-3.2	-1.6
		H27	63.3	64.9	-1.6	
	思考力・判断力・表現力	H28	42.6	44.0	-1.4	-1.6
		H27	56.2	56.0	0.2	
領域	数と式	H28	63.7	65.1	-0.4	1.7
		H27	66.7	68.8	-2.1	
	図形	H28	64.7	65.2	-0.5	0.3
		H27	59.3	60.1	-0.8	
	関数	H28	39.7	50.1	-10.4	-7.1
		H27	57.0	60.3	-3.3	
	資料の活用	H28	55.8	56.3	-0.5	-5.6
		H27	52.0	46.9	5.1	

正答率度数分布



経年比較



(6) 中学校第2学年英語の調査結果

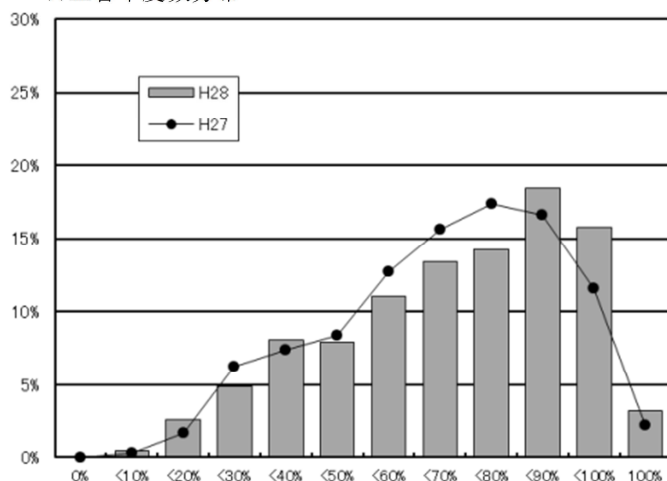
- ・「教科全体」,「基礎・基本」及び「思考力・判断力・表現力」は,期待値を下回ったもの
のかい離は5ポイントの範囲内であり,有意差は見られない。経年比較は全てプラスとなっ
ている。
- ・「聞くこと」は,期待値を上回るとともに,経年比較もプラスとなっている。
- ・「読むこと」,「書くこと」は,期待値を下回ったもののかい離は5ポイントの範囲内であり,
有意差は見られない。経年比較はプラスとなっている。

<表6> 領域別平均正答率

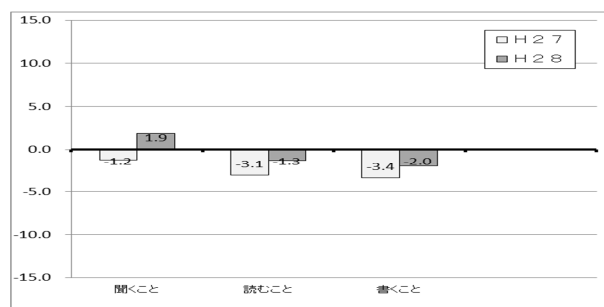
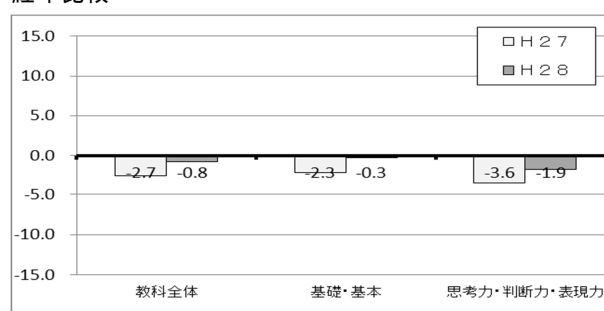
(単位 %)

分類	区分	年度	県平均 正答率	期待値	期待値との 比較	経年 比較
全体 ・ 基礎 ・ 活用	教科全体	H28	67.3	68.1	-0.8	1.9
		H27	65.6	68.3	-2.7	
	基礎・基本	H28	72.2	72.5	-0.3	2.0
		H27	71.2	73.5	-2.3	
	思考力・判断力・表現力	H28	52.2	54.1	-1.9	1.7
		H27	47.5	51.1	-3.6	
領域	聞くこと	H28	79.4	77.5	1.9	3.1
		H27	77.5	78.7	-1.2	
	読むこと	H28	61.7	63.0	-1.3	1.8
		H27	63.4	66.5	-3.1	
	書くこと	H28	63.8	65.8	-2.0	1.4
		H27	58.3	61.7	-3.4	

正答率度数分布



経年比較



(7) 質問紙調査結果の概況

回答欄の数値は、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」の割合を合計した値(%)
 経年比較欄の数値はH28とH27との回答の差

【児童生徒質問紙調査の結果】

「学力向上に向けた5つの提言」と関連する事項

先生から声を掛けられたり、励まされたりすると回答している割合は小5，中2ともに約7割となっている。先生が話を聞いてくれるとする割合は，小5で約9割，中2は8割の半ばとなっている。良いところを認めてくれるとしている割合は小5，中2ともに約8割となっている。

また，3つの質問項目の経年比較については，中2の一部項目を除き，マイナスになっている。授業のはじめに目標を示されていると思っている割合は，小5，中2ともに8割を超え，経年比較はプラスとなっている。

また，授業の終末に振り返る活動をよく行っていると思っている割合は，経年比較はプラスになっているものの小5は約7割，中2は約6割となっている。

自分の考えをノートに書くようにしている割合は，経年比較はプラスとなっているものの小5は約8割，中2では約6割となっている。

家で授業の予習をしている割合は，小5，中2ともに約5割となっており，経年比較については小5はマイナス，中2はプラスとなっている。

また，復習をしている割合は，小5，中2ともに経年比較はプラスとなっているものの6割前後である。

平日の家庭での勉強時間について，小5で1時間以上勉強している割合は，経年比較ではプラスとなっているものの6割未満となっている。

また，中2で2時間以上勉強している割合は，経年比較はプラスとなっているものの3割未満となっている。

質問事項	年度	小学校5年生		中学校2年生	
		回答	経年比較	回答	経年比較
1 先生から声を掛けられたり，励まされたりしますか	H28	71.7	-2.0	71.2	0.5
	H27	73.7		70.7	
2 先生はあなたの話を聞いてくれますか	H28	89.6	-2.1	85.3	-0.1
	H27	91.7		85.4	
3 先生は，あなたの良いところを認めてくれていると思いますか	H28	82.8	-2.0	79.3	-0.9
	H27	84.8		80.2	
4 授業のはじめに先生から（めあて・ねらい）が示されていると思いますか	H28	84.3	2.2	86.3	7.4
	H27	82.1		78.9	
5 授業のおわりにその時間の学習内容を振り返る活動が行われていると思いますか	H28	69.9	3.2	63.5	6.5
	H27	66.7		57.0	
6 授業で，自分の考えをノートに書くようにしていますか	H28	78.2	6.3	64.2	8.7
	H27	71.9		55.5	
7 家で学校の授業の予習をしていますか	H28	48.2	-0.1	49.4	8.5
	H27	48.3		40.9	
8 家で学校の授業の復習をしていますか	H28	58.1	0.5	63.2	4.6
	H27	57.6		58.6	
9 学校の授業時間以外に，普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（塾や家庭教師含む，小学校：1時間以上，中学校：2時間以上）	H28	55.6	2.9	25.6	1.4
	H27	52.7		24.2	
10 土曜日や日曜日など学校が休みの日に，1日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（塾や家庭教師含む，小学校：2時間以上，中学校：3時間以上）	H28	21.1	-0.8	14.8	2.0
	H27	21.9		12.8	

震災の影響と関連する事項

家庭学習がやりにくくなったと回答している中2の割合はやや減少しているが、他の項目は前年度とほぼ変わりが無く、依然として小5においては約2割、中2においては約1割の児童生徒が震災の影響を感じていると回答している。

質問事項	年度	小学校5年生		中学校2年生	
		回答	経年比較	回答	経年比較
11 (小)震災があったために、家庭学習がやりにくいですか (中)震災があったために、家庭学習がやりにくくなりましたか	H28	18.2	1.5	9.7	-3.0
	H27	16.7		12.7	
12 突然震災を思い出し、授業に集中できないときがありますか	H28	17.3	1.1	5.9	0.3
	H27	16.2		5.6	
13 突然震災を思い出し、気持ちが落ち着かなくなることがありますか	H28	22.0	0.0	9.9	0.6
	H27	22.0		9.3	

学習の理解度と関連する事項

小5では、国語、算数の授業の内容が分かるとしている割合はほぼ9割となっている。中2では、経年比較はプラスになっているものの、国語で約9割、数学、英語で約8割となっている。

質問事項	年度	小学校5年生		中学校2年生	
		回答	経年比較	回答	経年比較
14 国語の授業の内容はよく分かりますか	H28	89.4	-0.8	86.3	0.8
	H27	90.2		85.5	
15 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	H28	88.6	-1.2	82.1	9.6
	H27	89.8		72.5	
16 英語の授業の内容はよく分かりますか	H28			76.0	4.0
	H27			72.0	

基本的な生活習慣と関連する事項

毎日、同じくらいの時刻に寝ると回答している小5、中2の割合は、ともに8割をわずかに下回り同じくらいの時刻に起きていますと回答している小5、中2の割合は約9割となっている。

また、朝食を毎日食べると回答している小5、中2の割合は9割を超えているものの、小5の経年比較はマイナスとなっている。中2は昨年度と同程度である。

平日に3時間以上、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしている割合は、小5、中2ともに減少している。3時間以上テレビゲーム等をしている割合は、小5で約1割であり、経年比較はマイナスとなっている。中2は、2割を下回っているものの、経年比較はプラスとなっている。

携帯電話やスマートフォンの所持率が減少する一方、使用時間は増加している。

質問事項	年度	小学校5年生		中学校2年生	
		回答	経年比較	回答	経年比較
17 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	H28	78.3	1.6	78.1	-0.5
	H27	76.7		78.6	
18 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	H28	90.1	0.8	92.3	0.1
	H27	89.3		92.2	
19 朝食を毎日食べていますか	H28	96.0	-0.3	94.5	0.1
	H27	96.3		94.4	
20 平日に、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲームを除く) 3時間以上と回答した割合	H28	24.5	-1.6	24.3	-1.6
	H27	26.1		25.9	
21 平日に、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む)をしますか 3時間以上と回答した割合	H28	10.7	-0.1	17.1	0.8
	H27	10.8		16.3	
22 平日に、携帯電話やスマートフォンを勉強以外で使う時間はどのくらいですか 3時間以上と回答した割合	H28	4.8	1.5	15.2	1.6
	H27	3.3		13.6	
23 平日に、携帯電話やスマートフォンでLINEなどの無料通信アプリをどのくらい使っていますか 1時間以上と回答した割合	H28	8.0	2.3	30.5	3.8
	H27	5.7		26.7	
24 携帯電話やスマートフォンを所持している割合	H28	38.3	-9.5	58.0	-8.5
	H27	47.8		66.5	

20から24については、数値が高いほど、また、比較の値が大きいほど改善の必要性が高い。

自尊意識・規範意識と関連する事項

自分には、良いところがあると思っている割合は、小5，中2ともに経年比較はプラスとなっているものの、小5で8割未満，中2は7割未満となっている。

学校のきまりを守っているとする割合は、小5，中2ともに9割を上回り，経年比較もプラスとなっている。

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている割合は、小5，中2ともに9割を上回っているものの，経年比較はマイナスとなっている。

質問事項	年度	小学校5年生		中学校2年生	
		回答	経年比較	回答	経年比較
25 自分には、よいところがあると思いますか	H28	75.9	0.5	66.4	1.4
	H27	75.4		65.0	
26 ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがありますか	H28	92.9	-0.7	94.0	0.4
	H27	93.6		93.6	
27 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	H28	80.2	-1.8	72.0	2.3
	H27	82.0		69.7	
28 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	H28	93.2	-0.5	93.7	0.2
	H27	93.7		93.5	
29 将来の夢や目標を持っていますか	H28	92.3	-0.3	75.0	-0.2
	H27	92.6		75.2	
30 学校のきまり（規則）を守っていますか	H28	92.9	0.7	94.3	0.2
	H27	92.2		94.1	
31 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	H28	95.3	-1.0	94.9	-0.1
	H27	96.3		95.0	

【学校質問紙調査の結果】

中2の数学、英語の指導において、習熟の程度に応じた指導を行っている割合は、前年度に比べ増加しているものの、依然低い状況にある。また、小5の算数におけるその割合は、前年に比べ減少している。

将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導に取り組んでいる学校の割合は、前年度と比べ、小5，中2ともに減少している。

質問事項	年度	小学校5年生		中学校2年生	
		回答	経年比較	回答	経年比較
1 国語の指導として、前年度までに書く習慣を付ける授業を行いましたか	H28	93.6	2.9	97.1	0.5
	H27	90.7		96.6	
2 国語の指導として、前年度までに様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	H28	87.8	4.3	86.6	-0.1
	H27	83.5		86.7	
3 国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	H28	89.7	-1.3	94.4	2.8
	H27	91.0		91.6	
4 算数・数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	H28	57.6	-6.4	27.5	3.0
	H27	64.0		24.5	
5 算数・数学の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	H28	50.8	-4.6	21.8	5.0
	H27	55.4		16.8	
6 算数・数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	H28	72.1	2.8	73.2	6.1
	H27	69.3		67.1	
7 算数・数学の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	H28	96.9	-1.2	97.9	1.4
	H27	98.1		96.5	
8 英語の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	H28			23.9	4.3
	H27			19.6	
9 英語の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	H28			19.7	2.2
	H27			17.5	
10 英語の授業において、前年度に、英単語等の反復練習などをする指導を行い、基礎・基本を習得適すようにしましたか	H28			100.0	4.2
	H27			95.8	
11 将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行いましたか	H28	84.7	-5.6	94.3	-0.1
	H27	90.3		94.4	

3 今後の対応

小・中学校ともに全体的に平均正答率が期待値を下回り、経年比較もマイナスとなっていることから、改めて「学力向上に向けた5つの提言」を実践していく必要性を全学校、全教員に再認識させるよう働き掛けていく。併せて、7月末までには、「算数・数学ステップ・アップ5」の事例集を県内全ての小・中学校教員へ配布し、算数・数学のみならず他教科にも活用できる学力向上対策として自校化・実践化を図るとともに、みやぎの先生「授業の技」配信事業において授業づくりに役立つ動画をwebで公開し、授業改善を促していく。さらに、9月には全ての小・中学校の研究主任を対象に研修会を開催し、今回の調査に係る詳細な分析結果を示し、検証改善サイクルの更なる充実を図っていく。

「先生から声を掛けられたり、励まされたりする」と感じていない児童生徒は約3割、「話を聞いてくれる」、「良いところを認めてくれる」と感じていない児童生徒も各々、まだ約1割、2割存在している。このことを重く受け止め、改めてこれらを実践することが、共感的な人間関係の構築や児童生徒の学習意欲の喚起等、学習の基盤づくりとなることを指導主事訪問や各種研修会、さらに校長会議や教頭会議等の機会を生かしながら確認し、徹底を図っていく。

補足的な学習の指導や発展的な学習の指導等、習熟の程度に応じた指導に取り組んでいる学校の割合が低い傾向にある。学習内容の定着に向けて、個々の理解度に応じた指導の充実を図っていくよう各学校へ促していく。

震災の影響に関する項目では、小5の約2割、中2の約1割の児童生徒がいまだに影響を感じると回答している。今後も児童生徒の姿を注意深く見守りながら、継続して子供の心のケアに努め、落ち着いて学習できる環境の整備を進めていく。

小5、中2ともにテレビ等の視聴時間は減少しており改善傾向が見られる一方で、携帯電話やスマートフォンを使う時間が増加傾向にある。家庭と協力しながら、携帯電話やスマートフォンの使い方も含めて、基本的な生活習慣、学習習慣の形成を一層図っていく。

今後、本調査を開始した平成26年度から3年間の経年比較も含めた調査結果の詳細な分析を進め、全国学力・学習状況調査の結果分析と連動させながら、市町村教育委員会と連携して学力向上に向けた具体的な取組を進めていく。